

急柿作呂之由北陸
五



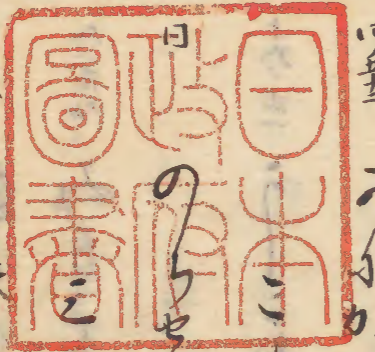
加賀
能也
若狭
越前
越中
越後

Handwritten title or notes on the right page, including the characters "川" (River) and "日" (Sun/Day).

Handwritten notes on the right page, including the characters "名" (Name) and "姓" (Surname).

編 萬葉名所歌卷五

陸國 經訓以苗哉乃美知 又久奴哉乃美知

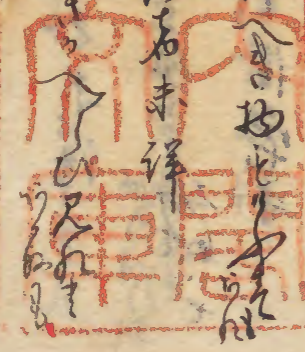


Handwritten text in the upper left section, including the character "日" (Sun/Day).

Handwritten text in the left margin, including the character "七" (Seven).



Handwritten text in the lower left section, including the characters "若狭國" (Suzuka Province) and "坂上大夫" (Sakagami Taifu).



○ 越前國

和名右之乃
美知乃久知

敦賀

郡名和名都留我
右記用角鹿字つぬと云

結浦

式敦賀郡
田結神社

笠金村

こつて
越前の海にぬくは遠く大なる島に
いふれやう海路はいとくまつわりの
まはるをのふひの浦はあまの
草花はふしあれはかりえん
つみのふかきしるまはくしけそ
やま

反分

ここのあふひの浦を旅して見ま
伝志未詳

十六

あふひ深きふらさうつゆも
日不伝云類有角人乗二船于
越前国飯浦故号其地曰角鹿也

十七

けひの浦よりさるふんあり
小村をさしお抄のなか

式郭
今もさるふんの里へは
式郭郡鹿野神社人々云云
さるふんの里へは社と

ひつりの坂 日部 武立幡神社

大伴家持

六十 ころの道のん思いつくは神への我を頼り

大山 丹也那 作者未詳

三十五 みやまの紙の大山はきくいつれの思ふ吾里をん

○ 紙中国 和名右文乃 美和乃奈加

大伴坂上麻呂

七十五 みちのちふつ神の張りもあらぬ君をえふは身を

礪波山 礪波那

大伴家持

十九六 わやせやもたつててつけられいて多うむらひ

たまたれふしきけえつおのしをえあふし守りたを

小い庭しを川谷へまてつたもも咲くうらなまめ

はらけいふふもたんいやふふあふぬれうのまきめ

さふりもえやあれるふもふもふもふもふもふもふも

足れらゆのほいしーやけいみあーりーにま
浪もろみ事しーまき高きさうーりーるや何
まのをろのい入にこいーらあまのしをこを
あやのちろしーかあひつーつさうんやまを
ろまをんまをいみこまのしーらまを
たろれろるまいーりあもあまのこの屋
あまのしをいしをろ根まのいえへまのあ
ーげろのちろんまをこいーらあ

まのしをいしをろ根まのいえへまのあ
ろまをんまをいみこまのしーらまを
たろれろるまいーりあもあまのこの屋
あまのしをいしをろ根まのいえへまのあ
ーげろのちろんまをこいーらあ

我せこいしあまのしをいしをろ根まのいえへまのあ
ろまをんまをいみこまのしーらまを
たろれろるまいーりあもあまのこの屋
あまのしをいしをろ根まのいえへまのあ
ーげろのちろんまをこいーらあ

志
光

あぶ谷のこいしをいしをろ根まのいえへまのあ
ろまをんまをいみこまのしーらまを
たろれろるまいーりあもあまのこの屋
あまのしをいしをろ根まのいえへまのあ
ーげろのちろんまをこいーらあ

あぶ谷のこいしをいしをろ根まのいえへまのあ
ろまをんまをいみこまのしーらまを
たろれろるまいーりあもあまのこの屋
あまのしをいしをろ根まのいえへまのあ
ーげろのちろんまをこいーらあ

あぶ谷のこいしをいしをろ根まのいえへまのあ
ろまをんまをいみこまのしーらまを
たろれろるまいーりあもあまのこの屋
あまのしをいしをろ根まのいえへまのあ
ーげろのちろんまをこいーらあ

あぶ谷のこいしをいしをろ根まのいえへまのあ
ろまをんまをいみこまのしーらまを
たろれろるまいーりあもあまのこの屋
あまのしをいしをろ根まのいえへまのあ
ーげろのちろんまをこいーらあ

あぶ谷のこいしをいしをろ根まのいえへまのあ
ろまをんまをいみこまのしーらまを
たろれろるまいーりあもあまのこの屋
あまのしをいしをろ根まのいえへまのあ
ーげろのちろんまをこいーらあ

あぶ谷のこいしをいしをろ根まのいえへまのあ
ろまをんまをいみこまのしーらまを
たろれろるまいーりあもあまのこの屋
あまのしをいしをろ根まのいえへまのあ
ーげろのちろんまをこいーらあ

大急よちめつた流やうつる 船秀よらつ
やうしそたうふ子きみそかたにちか
はにちちいひあまもあつらゆるはたを
又にもがしつちあつたふちんやうにちか
うらそきまひつちあつたふちんやうにちか
かきふ乃にもしたも昔ふつげあまのやうに
あつたをちうりはあつた名のみちのうらつた
そくよえつて二とちかふにえつてちかふ

あつたやうにちかふにえつてちかふにえつて
あつた(い)ちかふにえつてちかふにえつて
あつた(い)ちかふにえつてちかふにえつて
あつた(い)ちかふにえつてちかふにえつて
あつた(い)ちかふにえつてちかふにえつて
あつた(い)ちかふにえつてちかふにえつて
あつた(い)ちかふにえつてちかふにえつて
あつた(い)ちかふにえつてちかふにえつて
あつた(い)ちかふにえつてちかふにえつて
あつた(い)ちかふにえつてちかふにえつて

よこぬれも涙こぼるゝのやけはさうまうすけ
ニとよははつてなぬはちうもあつたひのや
やしのふねはふちうかへつゝらんかゝるを
互ふ

まゝに 後あみ涙てらうまゝのまはくをさうりや
ひきのうも世もあやしくはあきやう先ハ

うらあをくかりぬふこゝろもいひみか
かりつらうるおむきくはれういてさうえれん
いみつ川みあやのれやう軽あたりたあかり
あろふんや毒ふひうんやうまたに足つてはまゆ
あやしたあやうもはるねはなほよをまあを
かゝよりになつてはつて妹も先もあまたは
らうりーあやの水あはれはあまらうかぬ
く乃はあやうーあやもあやうーあやけの

たれをちりまじしあまをたにきし
うらまふかふまこまをくく
かきまふらめ村ままきし
天多なまきかきこまを
りしせんや
反交
公派のまをくくま原下のや
日まを浦まをい先
大はあ持

九
か
る
か
多
ま
こ
秋
此

又分

若あみたるものさうにいくしと御さういふは

田島福麻呂

六六いふはさきの浦をいふ多に居るんをいふ

日七五うけいっしつらんをいふは浦をいふと

六七名のふもいふはさきの浦をいふと

日 きの浦をいふはさきの浦をいふと

大伴家持

六八うらのいふきの浦をいふはさきの浦をいふと

或云わやま

多胡の子は浦 大伴家持

六九うらのいふきの浦をいふはさきの浦をいふと

内記濃麻呂

ナニとあはれ浦をいふはさきの浦をいふと

久麻度濃

ナニといふはさきの浦をいふはさきの浦をいふと

三山 右云此山者
右新ら部也

いふ川日

十七九のまきうはひさふ花うけうの中くおらこせ
たふはりもうまうまやま川いりまははは
やもまえうふらうに地まやあひ川いりま
まらひまはまふまふまふまふまふまふまふ
川乃流きぬは新しむせふらまの地いり
先まのうけひいやまのまはまのまはま
ふつふらうたふらうまはまのまはま

つらんまのまは右のまはまはまはまはまはま

及ぶ

あらふまはまのまはまはまはまはまはまはま
がふら川の流はくはまらまのまはまはま

こい

大付地

十七年 卯月 一 日 卯時 卯刻 卯刻 卯刻 卯刻
あまのまはまはまはまはまはまはまはまはま
あまのまはまはまはまはまはまはまはまはま

一、河原のまねりて...
きりい...
み...
ち...
く...
川...

互分

はら...
か...
延槻川 郡
大休衣持

老...
大休
休衣未詳

大休...
休衣未詳

大休...
休衣未詳

おこのあ日口

泰平年譜

まゝるよ海人のつゝもる私ぐこまゝのま打せり

大伴家持

まゝるよこのあひを川お浪より小つれん

まゝるよゆれいし吹らしをこのつまのゆきあふ

日 みをゆれしひやらしがこめえよ毒よ

或云らさきさき

十九七のゆをいみるこふゆまふ浪はちと

田舎福麻呂

おこのころあは船をすそをたを浪より

日 浪よりあこのゆまふ目ひまを急よ

日 おこのあはさあひひらかりおい

英遠浦

大伴家持

十九のゆあゆまふゆれん

辟田川

日

十九のゆあゆまふゆれん

初めのふとやよみききしうあるさ田のた乃
此よつゆこせりて島はち物ひやもらか
さしちらさひゆけはりまのこかくみうてせ紅
やちの傑くかこせりて夜のはまのやちとせし

互寄

紅の糸不りりせはひゆかこせりて君之るん

年力はな能りり此は田川物ハつるきくは

いり花井

日

十九五 初めよ心ねえくゆりうら幸のをきし

さうきこしかきと久の大志のききまはまの部

こもたやいさちのけりおくかひしはき

くろく日やまのちもむら一ははみまの

あやま女つけはまをばあちのいり花井

いさかひのあちうらふもちまひんてあ

流もゆかひりもやうあひしけえついなち

ふのうちをたひひのいしひあたま

つちのくちふさくしよきまてらいつてふ
ふのたう
反交
やうのまゆのうと若くまふうはて
は
十九冊て
いふおふたりにてまふうをてゆわうし
は



越後國

和名古之乃
美和乃之利

いやいこ
續日本後紀卷二云越後
國蒲原郡伊夜比古神

作者未詳

ふま九いはいのたのこゆまひまやめふ川
或云つらゆゆい

いやまのゆりやゆふりあつり麻力にやん
うのまふまふしつあ

○ 加賀國

和名折云弘仁五年
割越前國二郡置之

○ 能登國

續日本紀云養老二年割越前國之羽
能登國鳳至珠洲四郡始置能登國

作者未詳

三乘六能中のあは泊はる海人のくさく火の光るよひゆり月待

又侍未詳

七五九
旋ひか やさきそね 船中きりわしひのやの治山よりるれは

いらまげしといくよれいそ

お味のあ

志平お味郡
或お味郡志平神社

曰

七五九志をちりしうこえすれはけいひのあねのたす

かま 饒石川 風至郡

曰

十七五十妹よりのあそくくさくぬにきし川はきぬそよれ

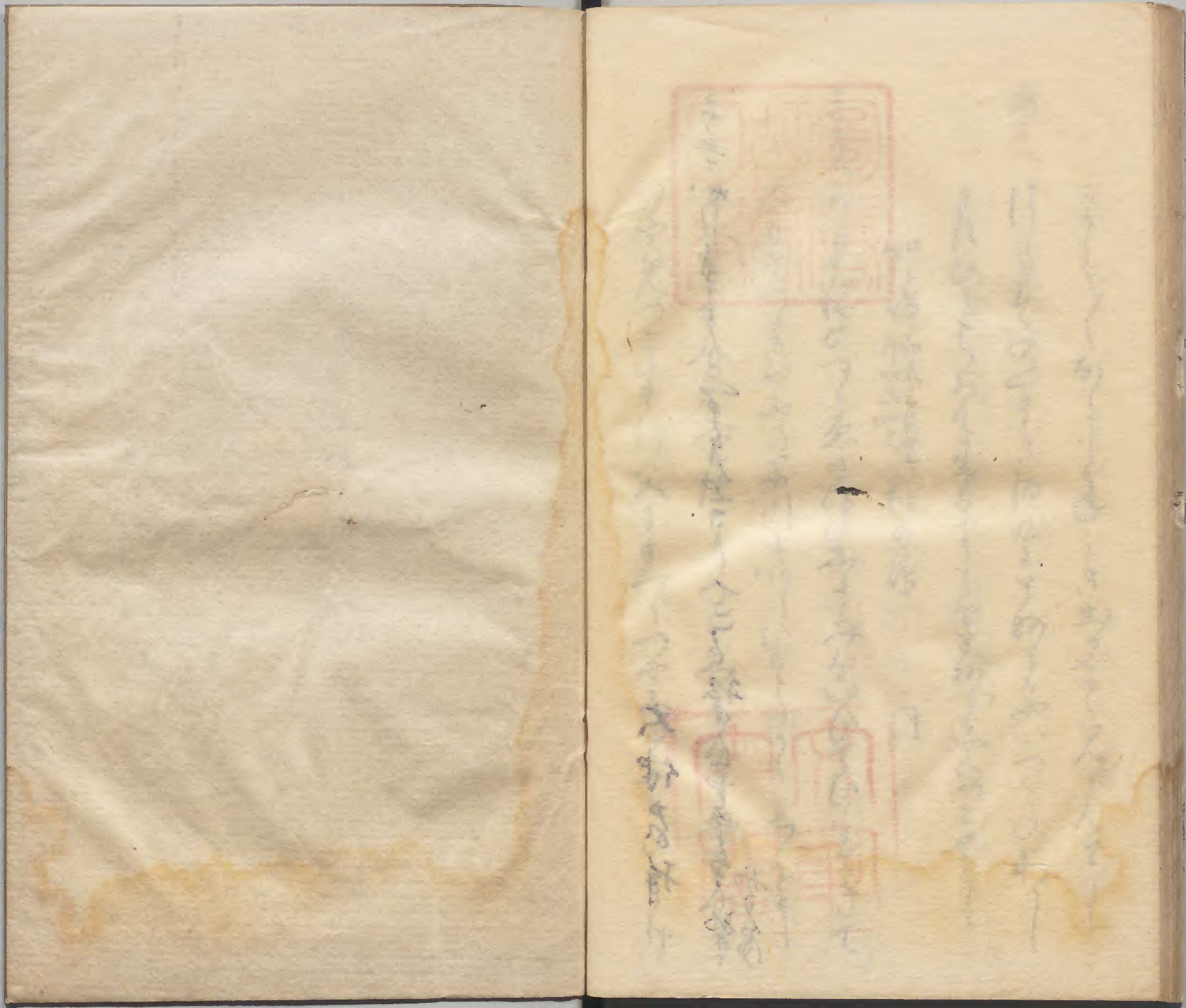
珠洲あ 志平の浦 珠洲郡 曰

七五九 志のあはねひきしてこまのれはほの浦の月を

徳ソネ

作者未詳

七五八 けいしりうまきめやうきまのあはねや



Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) on the right page, including several red seals (hanko) and a larger red rectangular seal at the top.

